

桑名市総合医療センターニュース

第0025号 平成26年6月発行

第2回 地域医療連携の会を開催しました

平成26年5月1日（木）に『地方独立行政法人桑名市総合医療センター第2回地域医療連携の会』を開催致しました。第1部は4月に着任しました周産期科の佐々木医師と竹田理事長による講演を行い、桑名市総合医療センターの現状や今後の課題、取組みなどについて報告しました。

Session I 『東海地方初の周産期科の設置について』

桑名東医療センター周産期科部長 佐々木 禎仁 医師

Session II 『新病院について』

桑名市総合医療センター理事長 竹田 寛 医師



佐々木医師の講演では、産科や小児科医師不足が著しい桑名地区の実態を示しながら、周産期科の特徴を紹介し、今後の産科の充実やハイリスク妊娠の受入れ体制の充実について話しました。

竹田理事長の講演では、NHKの取材を受け当法人の現状や取組み等が紹介されたニュース映像を見ながら現状について説明し、その後、救急や治療の充実など今後の法人が取り組むべき課題や方向性、現在始めている取組みについて話しました。

第2部の懇親会では、地域の医療機関の先生方や当法人の職員に加え、伊藤徳宇市長、田中謙一副市長、佐藤肇市議会議長、岡村信子市議会特別委員会委員長、長坂桑名保健所長に参加いただき、地域包括ケアシステム等、桑名市や北勢地域全体の連携に向け意見交換を行いました。



桑名南医療センター 心臓友の会より

第10回「心臓友の会総会」 を開催しました

5月11日（日）桑名南医療センターにて第10回心臓友の会総会が開催されました。

当日は28名の方にご参加いただき、総会では会計報告、今年度活動（案）が議決されました。

また、総会終了後には血液さらさら検査、骨密度検査、動脈硬化検査の他に医師相談や薬剤相談、栄養相談があり、普段の外来時には聞けないことなどを熱心に相談されていました。

今回の催しでは、手品・腹話術が行われ会員の皆さんと一緒に職員も参加し、楽しむことができました。



平田病院長からの挨拶



手品では、会員さんと職員の皆で楽しみました！



毎年1番人気の血液さらさら検査！今年も大好評でした。

緩和ケアへの取り組み

桑名西医療センター がん看護専門看護師 岩田友子

2007年よりがん対策基本法が施行され、重点的に取り組む課題の1つに「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」が謳われています。

桑名西医療センターにおいても、2009年から緩和ケアに興味のあるスタッフが中心となって緩和ケアチームを発足させ、現在、医師(臨床心理士と兼任)1名、看護師9名、薬剤師2名、退院調整看護師1名、MSW1名、栄養士1名など多職種のメンバーが参加して、院内における緩和ケアの向上に努めています。

桑名西医療センター 緩和ケアチームの取り組み

● 事例検討会 (毎週月曜日 12:45~)

患者様やご家族の苦痛や苦悩の緩和方法について多職種で検討しています。対象者は年間60名ほどおられ、大腸がんをはじめとする消化器がん、頭頸部がん、卵巣がんなどがん種は多岐に渡っています。

疼痛の緩和はガイドラインに沿って行っています。

しかし、緩和の困難な疼痛に対しては、チームで鎮痛補助薬の使用や、神経ブロック、心理療法なども併せて検討し、疼痛の緩和を図っています。現在は対象患者様の多くが外科の患者様ですが、内科や脳神経外科、整形外科など他科からの患者様についても積極的に介入していきたいと考えています。



最新の検査データなどを確認しながら、患者様の状態をメンバー全員で把握し、検討しています。

● 対象患者様へのチーム回診

患者様やご家族の同意が得られた場合は、緩和ケアチームが患者様やご家族から直接お話しを伺い、症状緩和や希望を叶えるための方略を話し合っています。

● 緩和ケア外科外来 (毎週月曜日 13:30~15:00 予約制)

外来通院中のがん患者様の症状緩和を図るための診察を実施しています。1回30分ほどの診察で、症状のアセスメントを丁寧に行い、症状緩和の方法について患者様やご家族と一緒に考えています。



他にも、グリーフケアの一環としてデスクカンファレンス(年4回)、遺族への手紙の送付、遺族会(2014年11月予定)や、緩和ケア研修、緩和ケアの啓発、北勢緩和ケアネットワークへの参加、学会発表(日本緩和医療学会等)などを行っています。

これからも緩和ケアの質の向上のため、様々な取り組みを行っていききたいと考えています。

名古屋市立大学緩和ケア研修会への講師として参加しました。

平成 26 年 5 月 24、25 日に名古屋市立大学緩和ケア研修会に桑名西医療センター外科、増田亨医師が講師として参加、協力してきました。この講習会はがん対策推進基本計画に基づくもので、がんを扱う医師は受講が必須となっています。増田医師は平成 23 年度緩和ケアの基本教育に関する指導者研修を終了しており、今回要請がありました。参加者は名古屋市立大学に勤務する医師 20 名で“がん疼痛の評価と治療”の講義と“患者への悪い知らせの伝え方についての検討”のロールプレイと“がん疼痛を持つ患者の評価及び治療”のワークショップでのファシリテーターの担当を行いました。参加者が若い先生ばかりで真剣な中にも和やかな雰囲気は無事終了しました。名古屋市立大学の先生方から三重県からの 2 日間にわたる院外協力に感謝の言葉をいただきました。有意義な院外活動となりました。



活動報告

救急症例検討会

平成 26 年 5 月 29 日、桑名西医療センター 3 階図書室で桑名消防と合同で救急症例検討会を行いました。症例は出血性ショックを伴った骨盤骨折例を提示しました。搬送時の状態に関わった救急隊が提示し、受け持ち医が診断、治療、経過を報告する形式で、搬送症例ですので、お互いの興味も強く、顔の見える関係にも貢献しています。



講義は、最近改定された“敗血性ショックのガイドラインの解説について西医療センター救急部の増田亨医師が行いました。敗血性ショックも 6 時間以内の初期蘇生が重要であること、敗血症の診断、治療の輸液の選択から、昇圧剤の選択、DIC の治療、呼吸管理、急性血液浄化療法、早期の経腸栄養の管理まで多項目にわたる講義内容でした。桑名・四日市消防職員、院内医師・看護師、看護学生を含めた約 60 名が参加しました。

看護週間イベントを開催しました

東医療センターでは、5 月 8 日（木）に『看護の日』のイベントを行いました。午前の部では、例年と同じく血圧測定、体脂肪測定、ストレス測定、健康相談をさせて頂きました。午後の部では、入院患者さま、ご家族を対象に、『さくらと一郎』による、マジックショー、フラダンスなどのバラエティーショー、託児所の子供たちによる、歌の披露などミニコンサートを開催し、患者さまと一緒に楽しい時間を過ごす事ができました。



西医療センターでは、看護週間に、生花や職場紹介パネルの展示と 16 日（金）にイベントを行いました。午前中は血糖値や体脂肪測定などを行い、糖尿病指導委員会スタッフが健康相談を行いました。また、介護用品の展示や三重県乳腺患者友の会「すずらんの会」による乳がん術後のボディメイク支援、アロマハンドマッサージを行い、とても好評でした。午後は琴の演奏、フラダンス、託児所の子どもたちによるお遊戯、体操と内容満載で笑顔がいっぱいのイベントになりました。



◆◇新しい医師の紹介◆◇

<放射線科>



山門 亨一郎

(資格)
放射線診断専門医
IVR 専門医

三重大学医学部附属病院・IVR科の山門亨一郎です。平成26年5月1日から週に一回、桑名東医療センターで診療を行わせて頂くことになりました。IVRとはInterventional Radiologyの略語で“介入する放射線科医”です。カテーテルで肝臓の治療を行ったり、ラジオ波焼灼術で肝臓や肺がん、さらには副腎腫瘍の治療を行っています。

また、最近は凍結療法で腎臓や骨軟部腫瘍の治療もおこなっています。これらの治療成績は世界でもトップレベルで、日本中から多くの患者さんが受診されています。

今回、竹田理事長からの要請もあり、桑名で質の高いがん治療を行っていく手助けができればと考えています。今後もよろしくお願いいたします。

<人間ドック室>



上田 粹

平成26年5月より、人間ドックの外来を担当させていただくことになりました上田粹と申します。桑名西医療センターでは火曜日と金曜日、桑名東医療センターでは水曜日に勤務させていただいております。地域の皆様の健康をお守りするために、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

平成26年5月より産婦人科、小児科の医師が東医療センターに着任いたしました。

【産婦人科】(非常勤) 池田 智明 (三重大学医学部附属病院産婦人科教授)
【小児科】(非常勤) 山本 和歌子

平成26年6月より西医療センター歯科口腔外科の文医師が常勤医師として着任いたしました。

【歯科口腔外科】 文 麻美

<西医療センターよりお知らせ>

平成26年6月から外来診療受付時間を変更致しました。ご配慮下さいますよう、お願い致します。

新 受付時間 8:30 ~ 11:30 (再来機受付時間7:30~11:30)

*一部診療科により受付時間が異なる場合がございます。詳細は外来診療案内表でご確認ください。

平成26年7月より **頭痛外来** (脳神経外科) を開設します。

外来日: 毎週金曜日 14:00~16:00 (予約制)

※一人につき30分程度

桑名市総合医療センターのロゴマークが決まりました

このたび、当院の目指す病院を表すシンボルとして、ロゴマークを作成いたしました。



桑名市総合医療センター (Kuwana City Medical Center) の頭文字である「K」をモチーフとし、大空に羽ばたく鳥のイメージに、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院として、地域とともに発展していきたいとの願いを重ねています。

また、翼の赤は、真心と思いやりの医療の提供を、そのほかの青は、新しい病院の清新さを表現しています。

桑名市総合医療センター

〈基本理念〉 最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

- 〈基本方針〉
- ① 患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
 - ② 医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
 - ③ 地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的にはたします。
 - ④ 患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくりまします。

〈桑名西医療センター〉

各種教室のご案内

外来棟3階図書室へお越し下さい。

当院に受診されていない方も、興味のある方はどなたでもご参加ください。

予約制の教室は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

糖尿病教室 日 時：6月19日（木）13:00～14:30（15分前までにお越し下さい）
 テーマ：みんなで楽しく運動しましょう！ ＊動きやすい服装でお越し下さい。
 参加費：800円（おやつ代込み） ＊昼食は付きません
 ＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

肝臓病教室 ＊偶数月の第一火曜日に開催しています。
 日 時：8月5日（火）12:30～13:30（10分前までにお越し下さい）
 テーマ：気になる内臓脂肪を減らすコツ～やせるための食事～
 参加費：1000円（昼食代込み）
 ＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

減塩教室 ☆5月、8月、11月の3回シリーズで減塩の基本から応用まで説明します。
 3回シリーズですが、各会のみでの参加でも減塩について学べる内容にしています。
 日 時：8月19日（火）12:30～14:00（10分前までにお越し下さい）
 テーマ：減塩の基本② ～減塩メニューの昼食を食べながら～
 参加費：800円（昼食代込み）
 ＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

◆シャトルバスをご利用ください◆

＊桑名駅と3病院の間を循環しています。

＊始発は桑名駅 8:00 発、最終は桑名駅 16:00 発（桑名西医療センター終着）

＊午前最終は桑名駅 11:30 発、南医療センター11:33 発、東医療センター11:38 発、西医療センター11:50 発（桑名駅終着）です。午後の始発は桑名西医療センター12:50 発です。



地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

桑名東医療センター（旧山本総合病院）
 住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
 電話 0594-22-1211（代表）
 FAX 0594-22-9498（代表）
 〈地域医療室〉 電話 0594-22-2110
 FAX 0594-22-2166

桑名西医療センター（旧桑名市民病院）
 住所 三重県桑名市北別所416番地1
 電話 0594-22-7111（代表）
 FAX 0594-24-1506（代表）
 〈地域医療連携室〉 電話 0594-22-7208
 FAX 0594-24-1581

桑名南医療センター（旧桑名市民病院分院）
 住所 三重県桑名市中央町一丁目32番地1
 電話 0594-22-0650（代表）
 FAX 0594-22-5608（代表）
 〈地域連携室〉 電話 0594-82-6889
 FAX 0594-22-5771



【法人事務局】住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
 電話 0594-22-1211（桑名東医療センター代表）